

2017 年 11 月 24 日 全 12 頁

グラフで見る 2017 年 10 月の中国経済動向

経済調査部 研究員 永井 寛之

GDP

- ◆ 2017 年 1～9 月期の各地方の成長率が出揃った。2017 年に入っても、重慶市、貴州省、チベット自治区では 2 桁成長が続いている。一方、2016 年に唯一マイナス成長となった遼寧省は前年同期比 2.5% とプラスに転じた。

各地方の成長率

各地方の実質成長率の推移（前年比・前年同期比、単位：％）

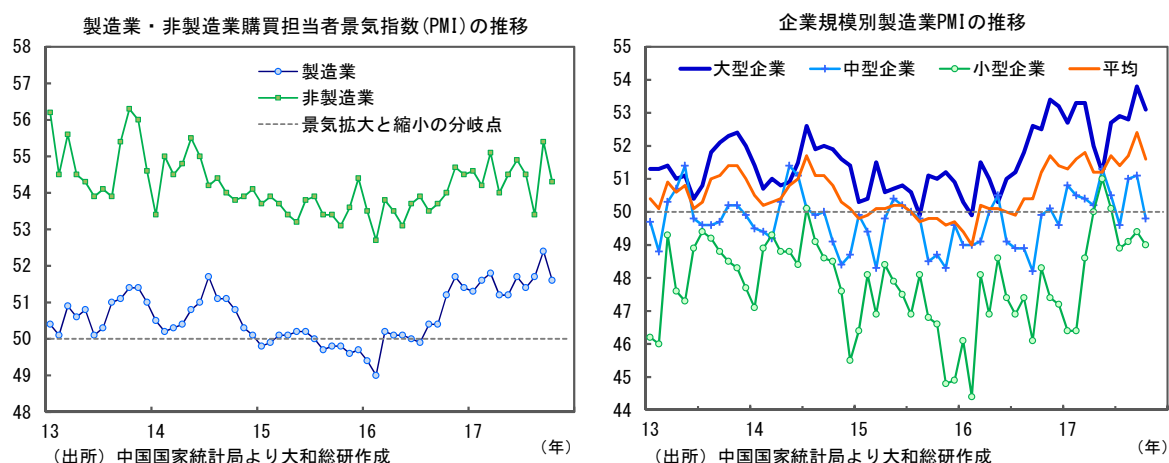
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年1-9月
東部	北京	8.1	7.7	7.7	7.3	6.9	6.7	6.8
	天津	16.4	13.8	12.5	10.0	9.3	9.0	6.0
	河北	11.3	9.6	8.2	6.5	6.8	6.8	6.7
	遼寧	12.2	9.5	8.7	5.8	3.0	-2.5	2.5
	上海	8.2	7.5	7.7	7.0	6.9	6.8	7.0
	江蘇	11.0	10.1	9.6	8.7	8.5	7.8	7.2
	浙江	9.0	8.0	8.2	7.6	8.0	7.5	8.1
	福建	12.3	11.4	11.0	9.9	9.0	8.4	7.9
	山東	10.9	9.8	9.6	8.7	8.0	7.6	7.5
	広東	10.0	8.2	8.5	7.8	8.0	7.5	7.6
中部	海南	12.0	9.1	9.9	8.5	7.8	7.5	7.5
	山西	13.0	10.1	8.9	4.9	3.1	4.5	7.2
	吉林	13.8	12.0	8.3	6.5	6.3	6.9	5.7
	黒竜江	12.3	10.0	8.0	5.6	5.7	6.1	6.3
	安徽	13.5	12.1	10.4	9.2	8.7	8.7	8.3
	江西	12.5	11.0	10.1	9.7	9.1	9.0	9.0
	河南	11.9	10.1	9.0	8.9	8.3	8.1	8.1
	湖北	13.8	11.3	10.1	9.7	8.9	8.1	7.8
西部	湖南	12.8	11.3	10.1	9.5	8.5	7.9	7.5
	内モンゴル	14.3	11.5	9.0	7.8	7.7	7.2	5.0
	広西	12.3	11.3	10.2	8.5	8.1	7.3	7.0
	重慶	16.4	13.6	12.3	10.9	11.0	10.7	10.0
	四川	15.0	12.6	10.0	8.5	7.9	7.7	8.1
	貴州	15.0	13.6	12.5	10.8	10.7	10.5	10.1
	雲南	13.7	13.0	12.1	8.1	8.7	8.7	9.0
	チベット	12.7	11.8	12.1	10.8	11.0	10.0	10.1
	陝西	13.9	12.9	11.0	9.7	7.9	7.6	8.1
	甘肅	12.5	12.6	10.8	8.9	8.1	7.6	3.6
	青海	13.5	12.3	10.8	9.2	8.2	8.0	7.0
	寧夏	12.1	11.5	9.8	8.0	8.0	8.1	7.8
	新疆	12.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.6	7.5
	全国平均	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7	6.9

（出所）中国国家统计局、中国統計年鑑、CEICなどより大和総研作成

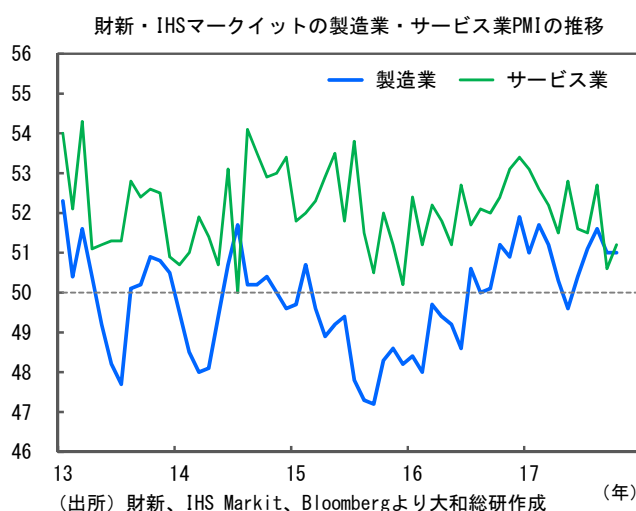
景況感

- ◆ 中国国家统计局と中国物流購入連合会が発表した2017年10月の製造業購買担当者景気指数(PMI)は51.6と、9月から0.8pt低下した。景気拡大と縮小の節目である50を15ヶ月連続で上回った。非製造業PMIは54.3と、9月より1.1pt低下した。
- ◆ 上記製造業PMIを企業規模別に見ると、大型企業は53.1(9月は53.8)、中型企業は49.8(9月は51.1)、小型企業は49.0(9月は49.4)とすべての企業規模で低下し、中型企業と小型企業は50を下回った。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社IHSマークイットが発表した10月の製造業PMIは51.0と、9月(51.0)より変化はなく、国家统计局の調査とは異なる結果となった。ただし、国家统计局の調査と比べてサンプル数が少なく、統計の振れが大きいことには留意が必要である。サービス業PMIは51.2(9月は50.6)と、9月より0.6pt上昇した。

国家统计局の製造業・非製造業PMI、企業規模別製造業PMI



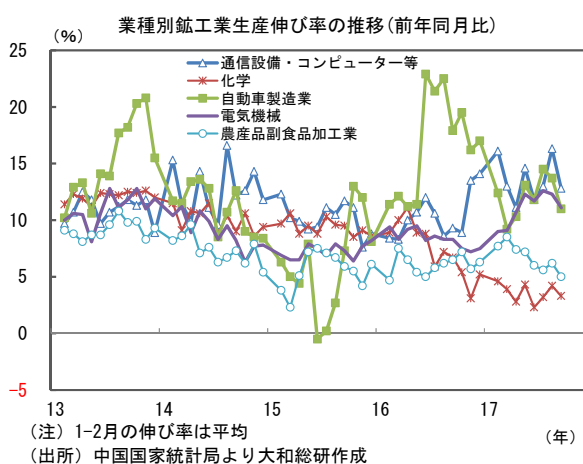
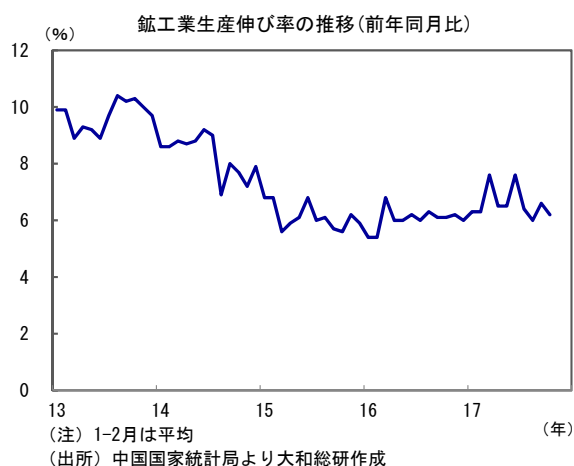
財新・IHSマークイットの製造業・サービス業PMI



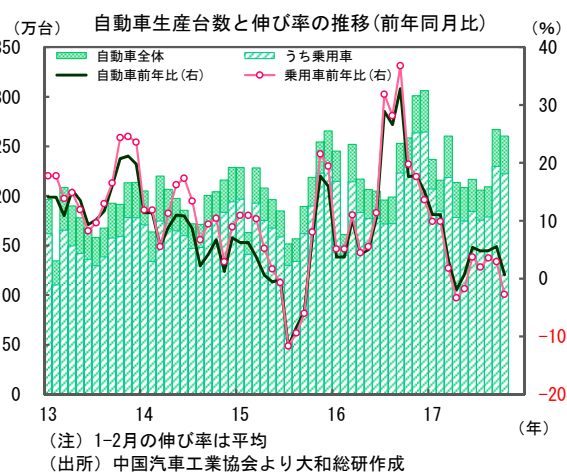
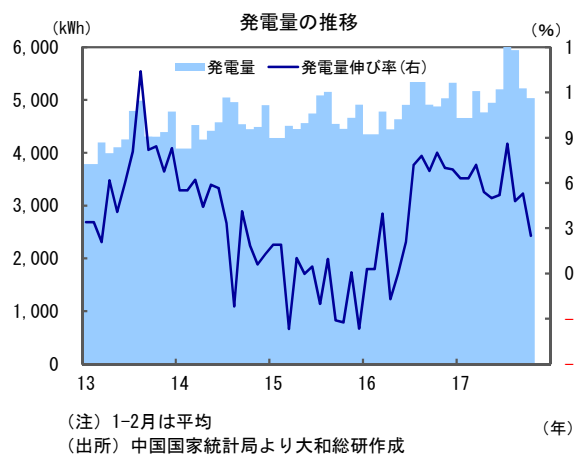
鋳工業生産

- ◆ 2017 年 10 月の鋳工業生産は前年同月比 6.2%増（9 月は同 6.6%増）、1～10 月の前年同期比は 6.7%増（1～9 月は同 6.7%増）であった。2016 年の売上上位 5 業種の動向を見ると、通信設備・コンピューター等は前年同月比 12.8%増、化学は同 3.3%増、自動車製造業は同 11.0%増、電気機械は同 11.1%増、農産品副食品加工業が同 5.0%増など 5 業種すべてで伸び率が鈍化した。
- ◆ 10 月の発電量は前年同月比 2.5%増と 9 月の同 5.3%増から伸び率が低下した。1～10 月の前年同期比は 6.0%増（1～9 月は同 6.4%増）であった。
- ◆ 10 月の自動車生産台数は 260 万台、前年同月比 0.7%増と 9 月から伸び率が低下した。乗用車生産台数は同 2.7%減と 5 ヶ月ぶりにマイナスに転じた。1～10 月の累計では、自動車は前年同期比 4.3%増（1～9 月は同 4.8%増）、乗用車は同 2.3%増（1～9 月は同 3.0%増）だった。

鋳工業生産



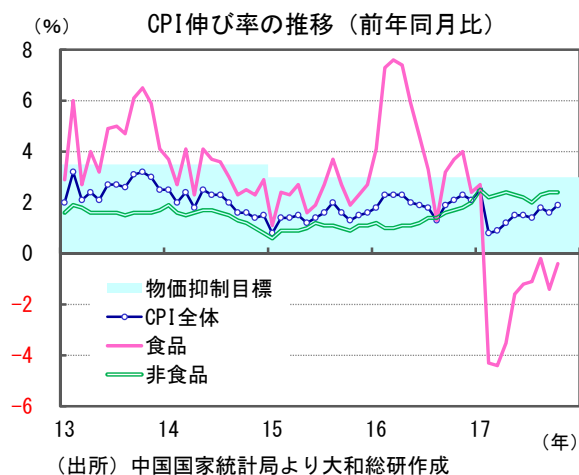
発電量、自動車生産台数



物価

- ◆ 2017 年 10 月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比 1.9%上昇した。食品は同 0.4%下落と下落幅が縮小した一方、非食品は同 2.4%上昇と伸び率が変わらなかった。内訳を見ると、生鮮野菜は、9 月：同 1.0%低下→10 月：同 0.3%上昇、とプラスに転じた。卵（9 月：同 3.7%上昇→10 月：同 3.1%上昇）は伸び率が低下し、肉類（9 月：同 7.5%下落→10 月：同 5.7%下落）は下落幅が縮小した。
- ◆ 10 月の工業製品出荷価格指数（PPI）は前年同月比 6.9%上昇した。2 月の同 7.8%上昇をピークに上昇ペースは鈍化傾向にあったが、ここへきて伸び率が再び上昇基調にある。うち石炭・石油などの採掘工業品価格は、9 月：同 17.2%上昇→10 月：同 14.7%上昇、鉄鋼などの原材料工業品価格は、9 月：同 11.9%上昇→10 月：同 11.6%上昇、といずれも伸び率が低下したものの、いずれも高水準で推移している。一方、加工工業品価格は、9 月：同 7.3%上昇→10 月：同 7.5%上昇、と伸び率が上昇した。

消費者物価

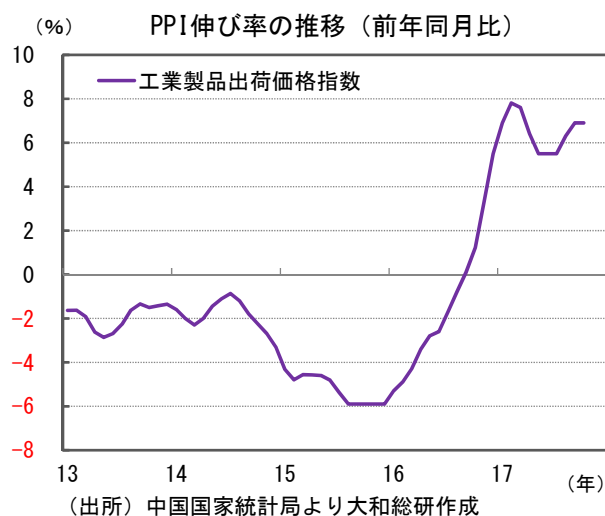


消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	CPI	食品	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・ 娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2016/01	1.8	4.1	1.9	1.4	0.6	-1.6	1.7	2.9	-0.4
2016/02	2.3	7.3	1.6	1.3	0.3	-1.6	0.9	2.8	0.4
2016/03	2.3	7.6	1.5	1.3	0.4	-2.6	1.2	3.1	1.7
2016/04	2.3	7.4	1.5	1.4	0.5	-2.4	1.2	3.2	1.7
2016/05	2	5.9	1.5	1.6	0.6	-2.6	1.2	3.5	2.2
2016/06	1.9	4.6	1.4	1.6	0.6	-1.8	1.4	3.8	2.6
2016/07	1.8	3.3	1.4	1.6	0.6	-1.6	1.6	4.3	4.4
2016/08	1.3	1.3	1.3	1.5	0.4	-1.2	1.3	4.3	4.5
2016/09	1.9	3.2	1.2	1.5	0.3	-0.4	2.0	4.3	4.4
2016/10	2.1	3.7	1.3	1.8	0.4	-0.4	2.1	4.8	3.6
2016/11	2.3	4.0	1.4	2.0	0.3	0.0	2.2	4.4	4.2
2016/12	2.1	2.4	1.1	2.1	0.4	0.9	2.3	4.6	4.0
2017/01	2.5	2.7	1.1	2.3	0.6	2.3	3.3	5.0	4.8
2017/02	0.8	-4.3	1.2	2.5	0.5	1.7	1.8	5.1	3.1
2017/03	0.9	-4.4	1.3	2.4	0.7	2.0	2.3	5.3	2.9
2017/04	1.2	-3.5	1.3	2.4	0.8	1.8	2.6	5.7	3.4
2017/05	1.5	-1.6	1.3	2.5	1.0	1.1	2.6	5.9	2.9
2017/06	1.5	-1.2	1.4	2.5	1.1	0.1	2.5	5.7	2.8
2017/07	1.4	-1.1	1.4	2.5	1.1	-0.2	2.5	5.5	1.3
2017/08	1.8	-0.2	1.3	2.7	1.3	0.7	2.5	5.9	1.4
2017/09	1.6	-1.4	1.3	2.8	1.4	0.5	2.3	7.6	1.4
2017/10	1.9	-0.4	1.2	2.8	1.5	0.8	2.3	7.2	1.8

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

生産者物価



工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、％）

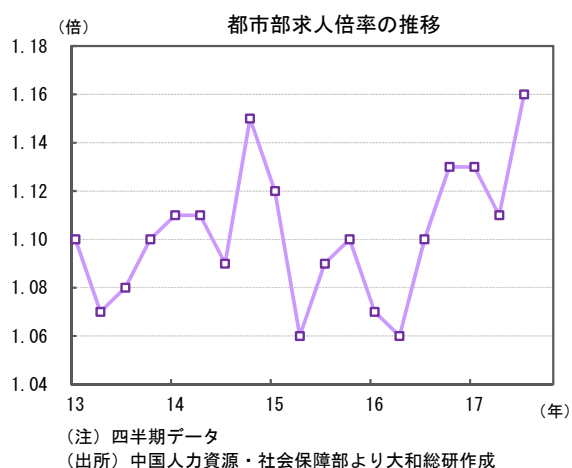
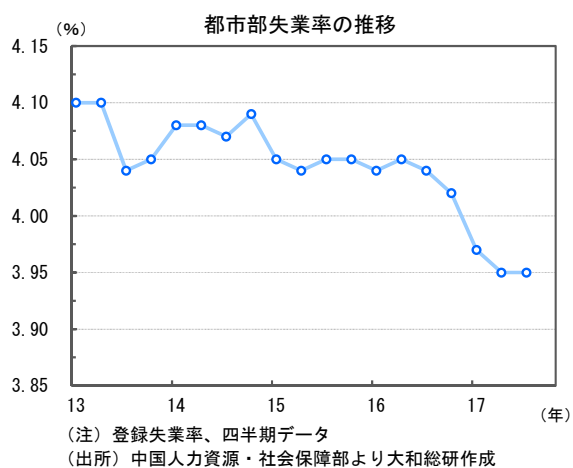
	工業製品出荷価格指数				生活財価格					
	生産財価格					食品	衣類	日用品	耐久消費財	
	採掘工業品	原材料工業品	加工工業品							
2016/01	-5.3	-6.9	-19.8	-9.1	-4.9	-0.5	0.2	0.7	-1.2	-1.6
2016/02	-4.9	-6.5	-18.2	-8.9	-4.5	-0.4	0.4	0.7	-1.0	-1.7
2016/03	-4.3	-5.7	-16.3	-8.8	-3.6	-0.2	0.7	0.8	-0.6	-1.7
2016/04	-3.4	-4.5	-13.0	-7.7	-2.5	-0.2	0.7	0.7	-0.5	-1.7
2016/05	-2.8	-3.7	-9.6	-7.2	-1.8	-0.2	0.6	0.7	-0.3	-1.7
2016/06	-2.6	-3.5	-8.2	-6.1	-2.0	-0.1	0.6	1.0	0.0	-1.7
2016/07	-1.7	-2.3	-5.6	-4.5	-1.2	0.0	0.2	1.1	0.6	-1.4
2016/08	-0.8	-1.0	-3.2	-2.3	-0.4	0.0	0.1	0.8	0.7	-1.3
2016/09	0.1	0.1	2.1	-0.2	0.1	0.0	0.3	0.7	0.5	-1.5
2016/10	1.2	1.6	7.9	1.9	0.9	0.1	0.6	0.9	0.2	-1.2
2016/11	3.3	4.3	14.8	5.8	2.9	0.4	0.9	1.1	0.7	-1.0
2016/12	5.5	7.2	21.1	9.8	5.1	0.8	1.3	1.3	1.3	-0.8
2017/01	6.9	9.1	31.0	12.9	5.9	0.8	1.3	1.1	1.5	-0.6
2017/02	7.8	10.4	36.1	15.5	6.6	0.8	1.1	1.3	1.5	-0.6
2017/03	7.6	10.1	33.7	14.9	6.5	0.7	0.7	1.3	1.4	-0.4
2017/04	6.4	8.4	28.3	13.0	5.2	0.7	0.5	1.5	1.4	-0.1
2017/05	5.5	7.3	22.7	11.1	4.6	0.6	0.3	1.5	1.1	0.2
2017/06	5.5	7.3	18.3	10.0	5.4	0.5	0.1	1.3	1.0	0.1
2017/07	5.5	7.3	15.8	9.3	5.8	0.5	0.4	1.2	0.6	0.0
2017/08	6.3	8.3	18.2	11.0	6.4	0.6	0.7	1.4	0.8	0.0
2017/09	6.9	9.1	17.2	11.9	7.3	0.7	0.7	1.2	1.3	0.0
2017/10	6.9	9.0	14.7	11.6	7.5	0.8	0.6	0.9	1.9	0.0

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

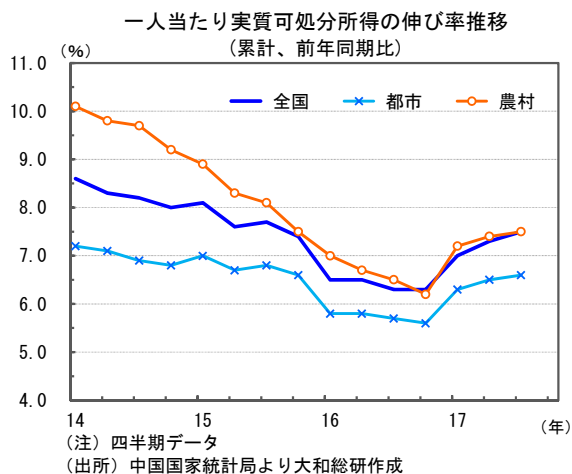
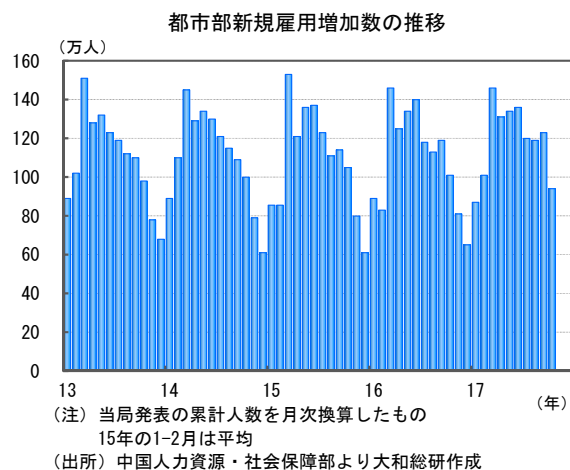
雇用と所得

- ◆ 2017 年 1～10 月の都市部新規雇用増加数は 1,191 万人となり、全人代で打ち出された 2017 年年間の目標である 1,100 万人を達成した。
- ◆ 9 月末の都市部失業率は 3.95%と 2017 年に入ってから 4%割れにまで低下している。
- ◆ 9 月末の都市部求人倍率は 1.16 倍と、6 月末の 1.11 倍から上昇した。

失業率と求人倍率



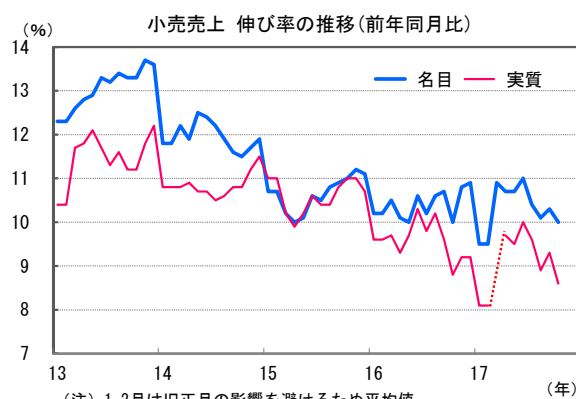
都市部新規雇用増加数の推移、一人当たり実質可処分所得



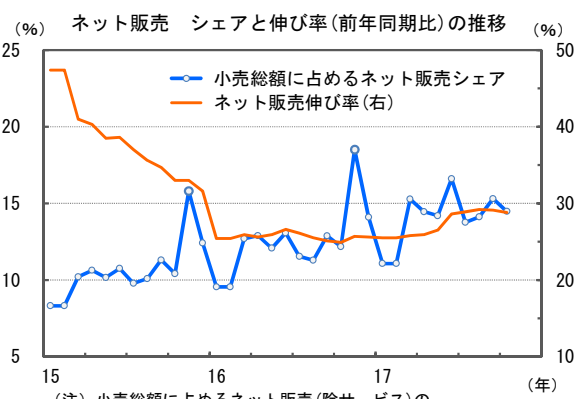
小売

- ◆ 2017年10月の小売売上（名目）は前年同月比10.0%増と、9月の同10.3%増から伸び率が低下した。10月の小売売上（実質）も同8.6%増と、9月の同9.3%増から伸び率が低下した。
- ◆ 1～10月のネット販売（除サービス）は前年同期比28.8%増と、1～9月の同29.1%増から伸び率が低下した。
- ◆ 中国汽車工業協会によると、10月の自動車販売台数は、前年同月比2.0%増の270.4万台と伸び率が低下した。1～10月の累計自動車販売台数は、前年同期比4.1%増の2,292.7万台であった。10月の乗用車販売台数は前年同月比0.4%増の235.2万台、1～10月の累計では前年同期比2.1%増の1,950.2万台であった。車種別（以下、10月単月、前年同月比）では、MPV（多機能乗用車）が18.1%減と減少幅が縮小し、SUV（スポーツ用多目的車）では13.9%増と伸び率が上昇した一方、普通乗用車が5.4%減と3ヶ月ぶりにマイナスに転じた。

小売売上の推移

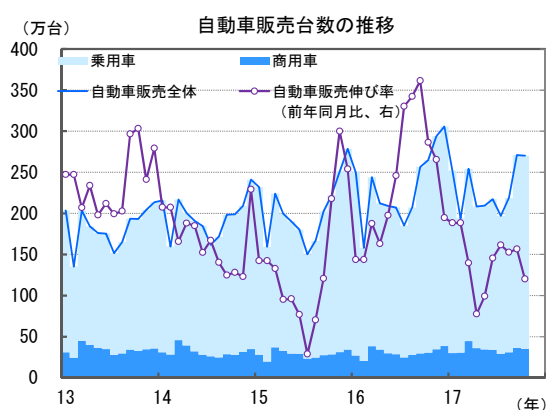


（注）1-2月は旧正月の影響を避けるため平均値
17年3月の実質伸び率は未公表
（出所）中国国家统计局より大和総研作成

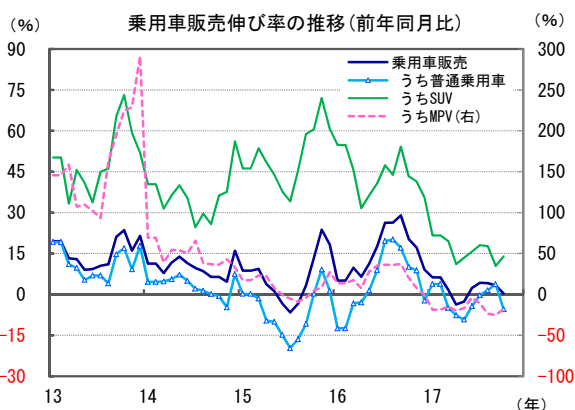


（注）小売総額に占めるネット販売（除サービス）の
シェアは単月で計算、1-2月は平均値。
ネット販売伸び率は当局公表の前年同期比。
（出所）中国国家统计局より大和総研作成

自動車販売



（注）自動車は乗用車と商用車の合計、1-2月の伸び率は平均
（出所）中国汽車工業協会、CEICより大和総研作成

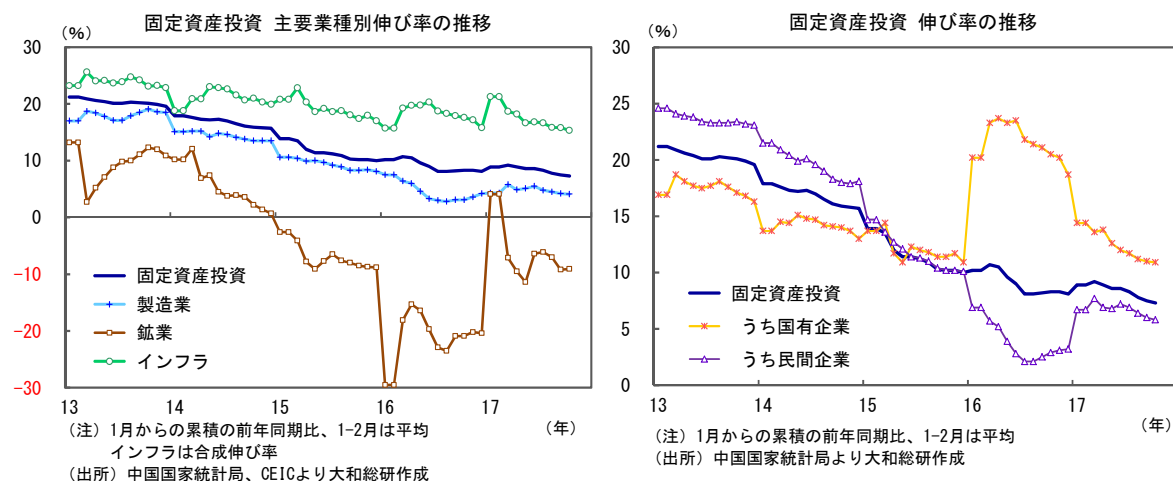


（注）1-2月は平均、SUVはスポーツ用多目的乗用車、
MPVは多機能乗用車
（出所）中国汽車工業協会、CEICより大和総研作成

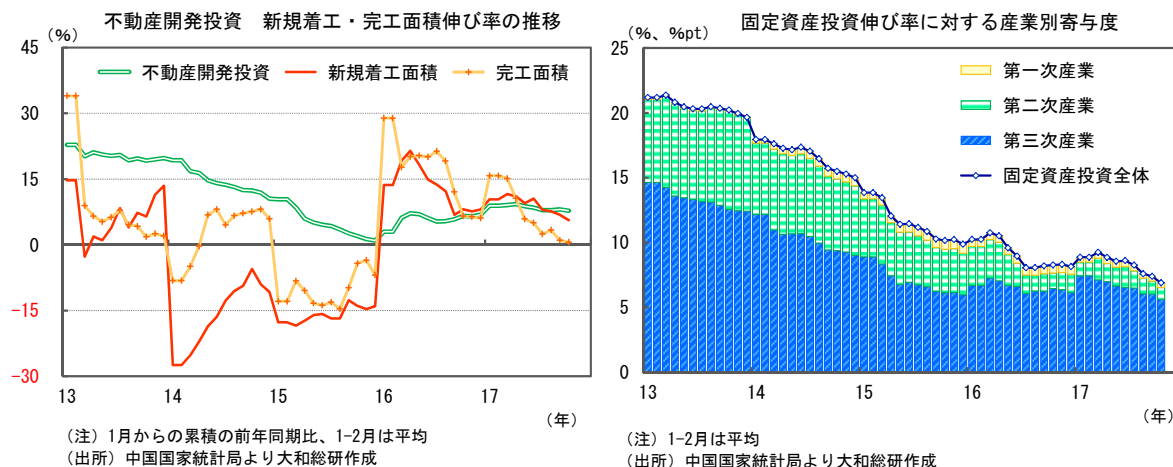
投資

- ◆ 2017 年 1～10 月の固定資産投資は前年同期比 7.3%増と、1～9 月の同 7.5%増から伸び率が低下した。全体の 4 割弱を占める国有部門は、1～10 月は同 10.9%増と 1～9 月の同 11.0%増から伸び率が低下した。全体の 6 割強を占める民間部門でも、1～10 月は同 5.8%増と 1～9 月の同 6.0%増から伸びが低下した。
- ◆ 1～10 月の固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業が前年同期比 9.1%減（1～9 月は同 9.2%減）と下落幅が縮小したもの、製造業は同 4.1%増（1～9 月は同 4.2%増）、インフラは同 15.3%増（1～9 月は同 15.8%増）と伸び率が低下した。
- ◆ 1～10 月の不動産開発投資は前年同期比 7.8%増と、1～9 月の同 8.1%増から伸び率が低下した。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ同 5.6%増、同 0.6%増であった。

固定資産投資



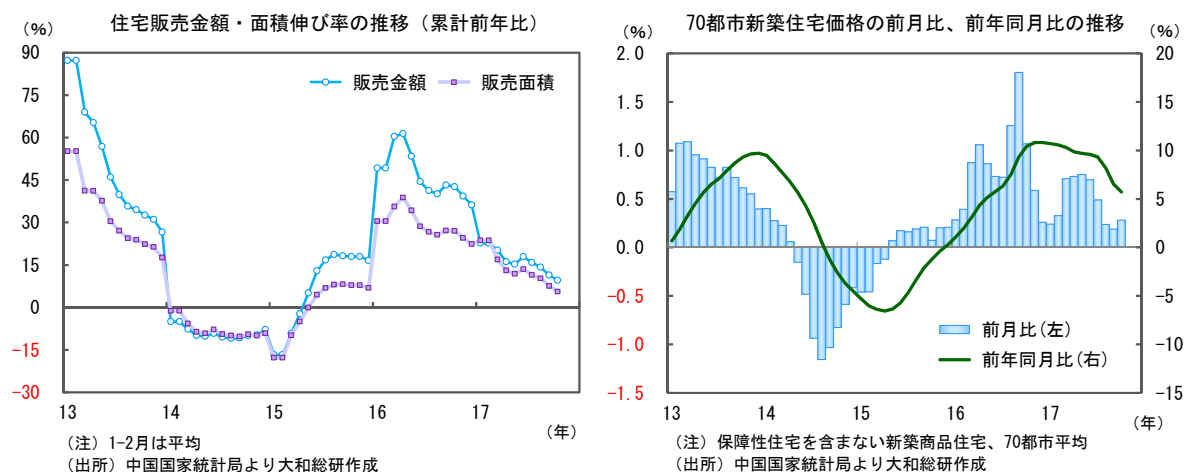
不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度



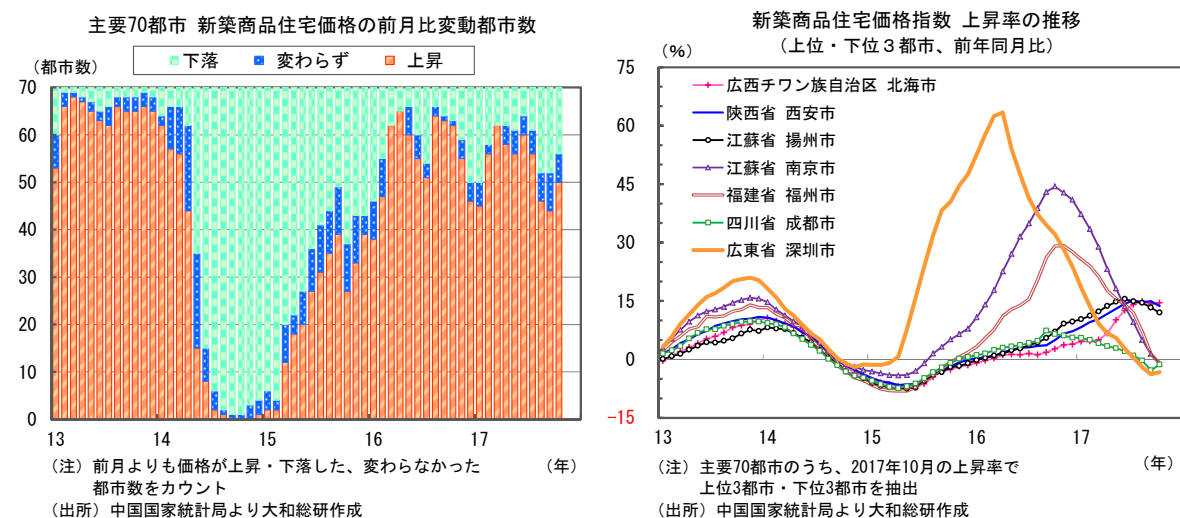
住宅

- ◆ 2017年1～10月の住宅販売金額は前年同期比9.6%増（1～9月は同11.4%増）と、16年の前年比36.2%増から大幅に減速している。住宅販売面積も前年同期比5.6%増（1～9月は同7.6%増）と、16年の前年比22.4%増から減速している。
- ◆ 10月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は、前年同月比5.7%上昇、前月比0.3%上昇となった。前月比で上昇したのは50都市（9月は44都市）、下落したのは14都市（9月は18都市）、変化がなかったのは6都市（9月は8都市）となった。
- ◆ 主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、広西チワン族自治区北海市（前年同月比14.5%上昇）、陝西省西安市（同13.7%上昇）、江蘇省揚州市（同12.0%上昇）であった。一方、下位3都市は、広東省深圳市（同3.3%下落）、四川省成都市（同1.3%下落）、福建省福州市（同1.1%下落）、江蘇省南京市（同1.1%下落）となった。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



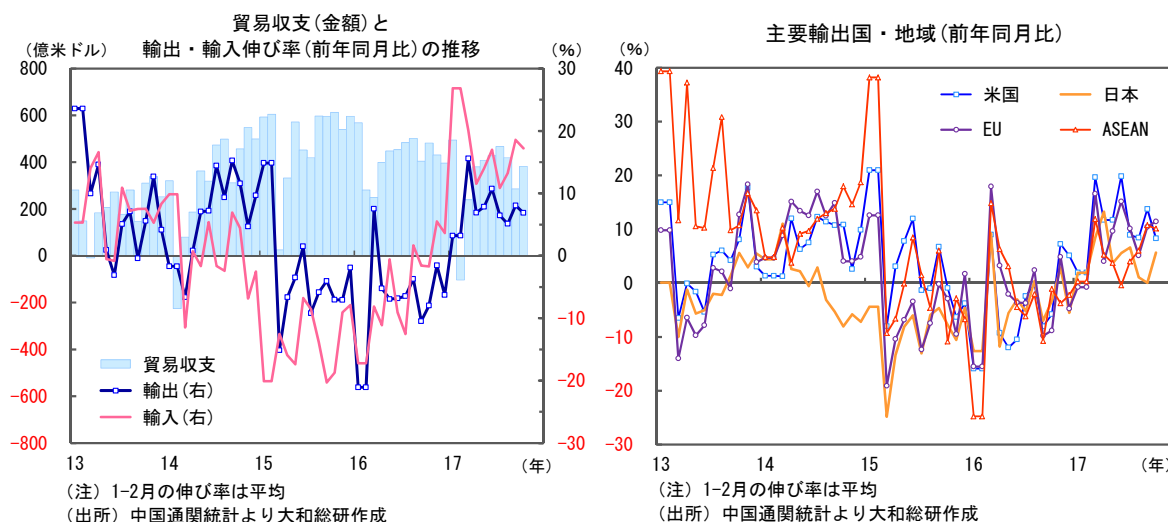
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



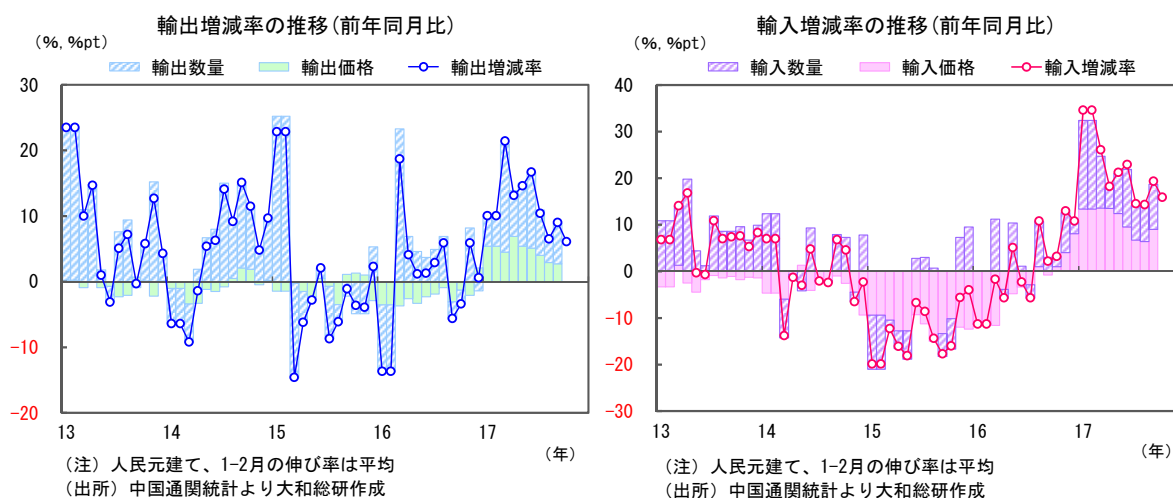
貿易

- ◆ 2017年10月のドル建て輸出は前年同月比6.9%増、輸入は同17.2%増であった。輸出を主要貿易相手国・地域別に見ると、日本は、9月：同0.0%増→10月：同5.7%増、EUは、9月：同10.4%増→10月：同11.4%増、と伸び率が上昇した一方、米国は、9月：同13.8%増→10月：同8.3%増、ASEANは、9月：同10.7%増→10月：同10.1%増と伸び率が低下した。貿易収支は382億米ドルの黒字（9月は286億米ドルの黒字）であった。
- ◆ 1～10月のドル建て輸出は前年同期比7.4%増、輸入は同17.2%増、貿易収支は3,348億米ドルの黒字だった。貿易黒字は前年同期比で21.6%縮小している。
- ◆ 10月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比6.1%増、輸入は同15.9%増、1～10月の輸出は前年同期比11.7%増、輸入は同21.5%増となった。

輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



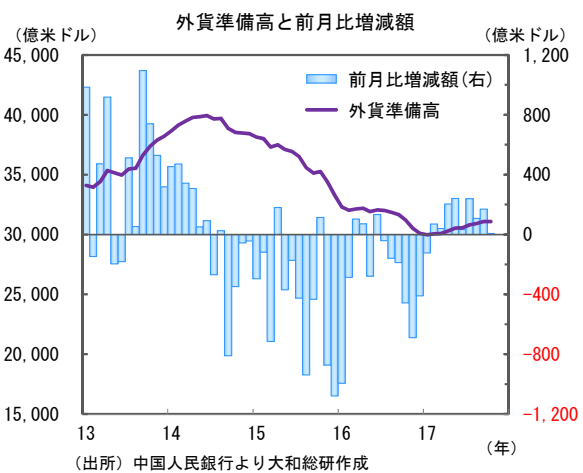
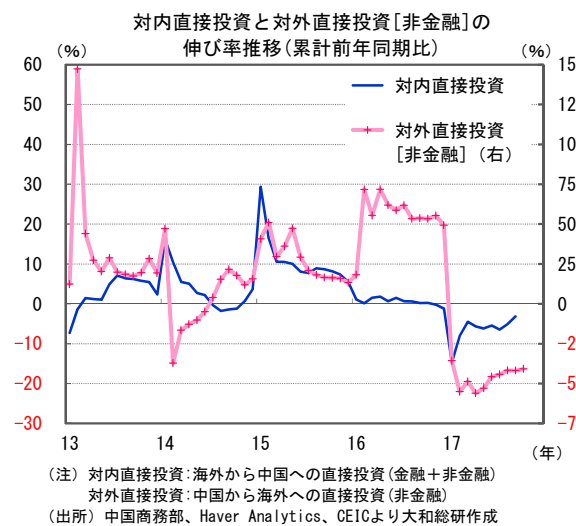
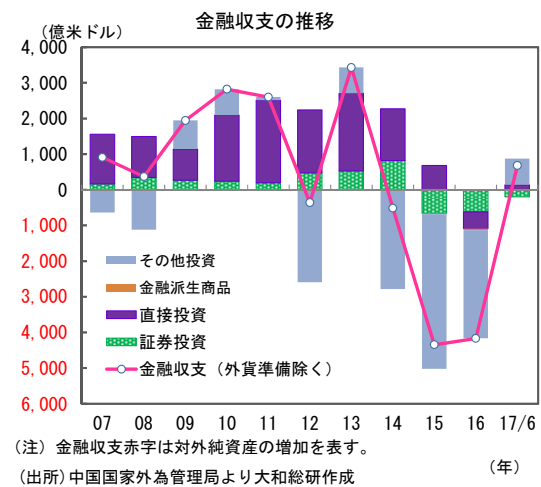
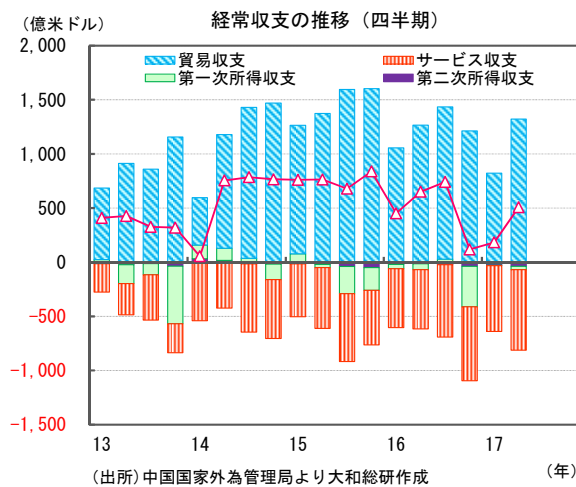
輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量



国際収支

- ◆ 1～10月の中国から海外への対外直接投資（非金融）は863億米ドルだった。前年同期比は40.9%減と、17年に入り大幅なマイナスが続いている。
- ◆ 10月末の外貨準備高は3兆1,092億米ドルと、9ヶ月連続で前月比増加した。その背景の一つに上記対外直接投資の減少がある。

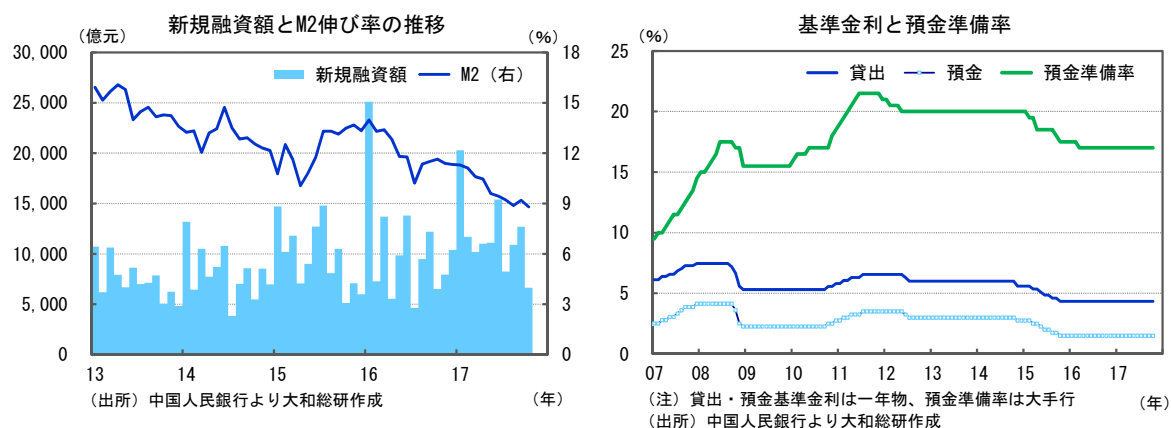
経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



金融

- ◆ 2017年10月末のM2伸び率は前年同月比8.8%、9月末の同9.2%から伸び率が下向いた。
- ◆ 1～10月の社会資金調達金額（社会融資総量）は前年同期比16.0%増と、1～9月の同15.9%増から伸び率が若干上昇した。10月末の社会資金調達金額残高は172兆2,137億円で、前年同月比13.0%増と、9月末の同13.0%増から伸び率が変わらなかった。

M2と金利



社会資金調達金額（社会融資総量）の増加額と残高

社会融資総量の増加額（億円）								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	59,664	36,324	3,864	3,371	1,703	6,702	2,285	4,333
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	178,022	124,372	-5,640	21,854	8,593	-19,531	29,993	12,416
2017年1～10月	166,410	121,234	-349	6,888	18,876	4,672	2,409	7,011
前年同期比(%)	16.0	14.4	純減⇒純減	-56.5	254.5	純減⇒純増	-91.5	-34.6
社会融資総量の残高（億円）								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2007年	321,326	251,580	11,411	14,407	3,732	11,562	8,034	13,564
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,824	927,521	30,193	110,099	54,539	58,544	146,258	45,251
2016年	1,559,933	1,051,892	26,310	131,953	63,132	39,005	179,167	57,722
2017年10月末	1,722,137	1,173,095	24,812	138,838	81,635	43,695	183,422	64,941
前年同月比(%)	13.0	13.5	-5.8	10.2	36.4	20.6	4.4	15.9

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額（または減少額）

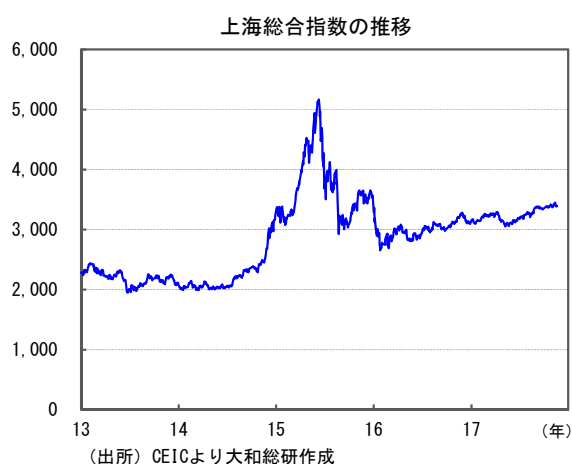
内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用

(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2017 年 10 月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間 0.6% 上昇、0.9% 上昇だった。
- ◆ 10 月末の人民元の対米ドルレートは 6.6397 元／ドルと月間 0.1% の元高となった。11 月 22 日時点の対米ドルレートは 6.629 元／ドルと 10 月末比で 0.2% 元高であった。
- ◆ BIS の 10 月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比 0.2% の元高、前年同月比 0.4% の元高であった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

